

差別を問い直す自分であるために！

1月27日(水)午後7時半から今年度第2回目の社会同和教育講座を開催しました。平日の夜の開催となりましたが、多数の方にご参加いただきました。



今回は、反差別・人権研究所みえの調査・研究員、原田朋記さんを講師としてお招きし、「部落差別の解決をめざして 一近年の意識調査からみえてくること一」という演題でお話をさせていただきました。

内容は、「さまざまな人権問題に関する意識調査の結果からみえてくる部落差別問題の現状」、「その結果をもとに部落差別問題の解決に向けてどのような取り組みや意識が必要なのか」など、自分に問い返す契機になるものでした。

意識調査では、子どもが結婚したいといっている相手が同和地区の人だとわかったとき、4割近くの人が「結婚に反対する態度をとる」、購入を希望する住宅が同和地区内にあるとわかったとき、約5割の人が「住宅の購入をやめる」という結果が出ており、まだ差別が残る現状であることがわかりました。

また、人権に関する講演会や研修会に参加したことがあるという経験を持つの方が、参加したことがないという人よりも部落差別問題への正しい認識や理解が深まっていることに触れ、正し

く学び理解すること、部落差別問題を「自分に

関係がある問題」として捉えることの大切さを

調査結果と体験をもとに語っていただきました。

